

振興会だより よしだ

2015年(平成27年)
12月21日発行
第35号
吉田地区振興会

9月13日(日)午前10時から市民文化センターで吉田地区敬老会が開催されました。今年是对象者(75歳以上)613名の内257名が参加され、楽しい一日となりました。



開会行事は市長をはじめ8名の方々のご来賓をお迎えし盛大に行われ、代表して市長・市議

会議員・警察署長の3名の方からご祝辞を頂きました。



花束を受け取られた西永哲惟さん

そして、最高齢の国司の西永哲惟さん(97歳)が敬老者を代表して記念品と花束を水重会長から受け取られ、西土手の佐々木正紀さん(75歳)が代表してお礼のあいさつをされました。

その後のアトラクションでは、吉田保育所・幼稚園の園児を始め234名の方がステージに立たれましたが、なんとその内の25名の方が敬老者ということで、まだまだ元気!! 元気!!

今年も楽しい想い出の一日になったようです。終りはみんなが長生き音頭を歌い、子ども神楽で締めくくりました。



ユーモアたっぷりの 膝に付けた人形の踊り

最後になりましたが、敬老会をお世話いただいた163名の実行委員の皆様、ステージ発表された皆様、ご協力誠に有難うございました。心からお礼を申し上げます。



天井に届くかな~ 全員で背伸び体操



傘売りや鬼の切れのある舞 子ども神楽

八木地区被災地に立つ

防災について考える
まちづくりリーダー研修

私達の吉田地区も周りは山に囲まれ、そして平野部は江の川と多治比川の大きな川が合流し、いつ災害が発生するか分かりません。そうしたことから、今回は昨年の8月20日に広島市安佐南区で発生し75名の方の尊い命を奪った大規模土石流災害の現地視察を、10月29日(木)に行いました。



全員で慰霊碑に献花し、黙とうを捧げました。

八木学区自主防災会連合会会長から防災活動の内容や実際の避難所での取組みの状況、そして今後の課題などについてお話を聴き、昨年の土石流や人命救助の状況など実際の映像を見せさせていただきました。

その後、安佐南区役所の職員の方に八木地区の被災現場を案内していただきました。現地は急ピッチで復旧工事が進んでいましたが、土石流の恐ろしい爪痕があちこちに見られました。私達は災害の様子をテレビなどで見て「わっ! すごーっ」と片付けてしまいます。他地区

での災害は他人事であり自分の身に危険を感じることはありません。身の回りで起きて初めて災害の怖さが分かりますが、その時はすでに手遅れです。「災害は忘れるからやって来る。」「災害はいつか有った事でなく、いつか有る事。」を肝に命じていただき、災害に遭わない為に、また災害が発生した時にはどうするか是非とも家族や地域で話し合っていたいただきたいものです。

安全安心な住みよいまちをつくるために!!

*参加者からアンケートを取りましたので一部をご紹介します。

1. 自主防災活動に関心が
◎非常にある41% ◎ある59%
2. 今まで災害に遭ったことがある
◎ある43%
3. あなたの地域は
◎安全だと思う 14%
◎不安だと思う 82%
◎考えたことがない 4%

4. あなたの防災対策は複数回答

- ◎常に懐中電灯やラジオなど必需品を準備している 36%
 - ◎ハザードマップで危険箇所や避難所等確認している 64%
 - ◎家族で被災時の連絡方法など話し合っている 14%
 - ◎今後、家族や地域で防災について話し合う 59%
 - ◎特に何もしていない 14%
- (アンケートの回答者数23名)



八木地区災害現場です。沢山の家が流されました。

*研修後の自由感想(一部です)

- ①改めて危険箇所を考える機会が出来た。
- ②災害について今まで甘い考えをしていた。
- ③現地に立って見ると土石流の怖さが分かった。
- ④他人事ではないと感じた。
- ⑤一致団結の町内会であることを感じた。

「アンケートや自由感想を見て、自分の考えと重ねてみていただきたいと思います。」

地域の特性を活かした まちづくりの視察

吉田町振興会連絡協議会
10月22・23日で島根方面に視察に行きました。初日は、丹比の西浦にターゲットボードゴルフ場が有ることから、これの管理運営について雲南市の明石緑ヶ丘公園でスポーツ振興施設を視察し、2日目は飯南町の島根県中山間地域研究センターで中山間地域の自治組織運営についてお話を聴きました。



電気柵の設置方法の説明に聞き入る。

進み、閉鎖されたJA店舗を利用した買い物場所づくりや廃校を利用したサロンづくり、耕作放棄地への花木の植栽による景観地づくりなど、いろいろなまちづくりを工夫されているようです。最後に、猪や鹿から農作物を守るための研究やシイタケ栽培など施設内を見学しました。

郡山Bチームが



9月27日
(日)に大浜
グラウンドで
開催した第20
回吉田地区グ
ラウンドゴルフ

フ大会は、12チームの参加により楽しい一日を過ごしました。成績は次のおりです。来年は、もっと沢山のチームが参加されますよう期待します。

団体の部

- 第一位 郡山B (六日市)
- 第二位 五丁目A
- 第三位 西土手A



写真は、チャンピオン大会の様子

- 第四位 三矢タウン
 - 第五位 川向
 - 第六位 郡山A (六日市)
 - 第七位 高樋
 - 第八位 西土手B
- 個人の部
- | | |
|----------|-------|
| 男子 | 女子 |
| 第一位 森末信好 | 山本美恵子 |
| 第二位 朝胡英司 | 津山力ツ子 |
| 第三位 原田勇治 | 真田喜代江 |
| 第四位 薮本利昭 | 田島トヨコ |
| 第五位 平岡謙三 | 安井ハルミ |

この予選会をもって、11月15日(日)各地区上位8チームが吉田運動公園に結集し、第18回吉田町グラウンドゴルフチャンピオン大会で激闘を繰り広げました。吉田地区から前述の8チームが出場しその結果、団体で郡山Bチームが、そして個人では新町の佐々木芳彦さん(郡山B)がめでたく優勝されました。

おめでとうございます。
(体育部 隅田克良)

今後の行事予定

- 1月5日(火) 新春書き初め大会
- 2月6日(土) 自治懇談会
- 2月21日(日) 八千代市民フォーラム
- 3月21日(月) 郡山クリーン作戦とぼんぼり取付け

花いっぱい運動



11月9日(月)の朝、J A 本所前の国道ロータリーで環境福祉部員によるボランティアアロウド活動を実施しました。天候も不安定な中、23名の部員と吉田高校アグリビジネス科の生徒さん8名、先生2名のご協力を頂き800株のパンジーの苗を植え、美しい花壇が出来上がりました。来年の春まで可愛い花を咲かせ、運転手さん達の目の保養になれば幸いです。



沢山の
ご協力有
難うござ
いました。
(環境
福祉部
佐々木
公人)

温かいお弁当をお届け

友愛訪問

12月12日(土)の朝、吉田運動公園の調理室に27名が集合し恒例の友愛訪問のお弁当作りをしました。一つ一つ丁寧に219食を仕上げ、行政区委員さんの手によって配達されました。



りのおられる家庭にお弁当を声を掛け合いながらお配りし、お元気でよいお正月をお迎えくださいとの気持ちを込めたもので、毎年大変喜んでいただいております。

これは、
80歳以上
の一人
暮らしの
家庭と、
85歳以上
のお年寄

私たちの地区には
こんな人がいます!!

カヌーに燃えている浄安寺の岡崎姉弟。姉は高校生、ジュニアの日本代表で世界大会に、また弟は吉田小学校5年生で全国大会に出場している。二人の夢は早くもオリンピック出場かな?



カヌー大会で激流の中を頑張っている弟の岡崎七星(ななせ)君。



編集後記

テレビでも見た・新聞でも見た・車の窓からも見た風景。しかし、現地に立って見れば頭の中で想像していた規模とは全く違う。

先般、安佐南区八木の被災現場に立つ機会があった。復旧工事が急ピッチで進み、倒壊した家や流れてきた大きな石などは除去されていたが莫大な量の土石だったと想像がつく。現地と吉田の山も同じ土質で崩れやすいためのこと。郡山も確か4回崩れたような気がする。更に江の川と多治比川は大量の水が流れ合流する。だが「災害」は山と川だけでなく何がどこで起こるか分からない。だから「災害」は決して忘れてはいけない。

また、災害が起きた時には近所との助け合いが大きな力となる。被害をまともに受けるか、それとも協力して被害をかわして助かるか。八木地区の防災委員会長の話を聴きつくつく感じた。

来年こそは、日本全国、災害のない良い年でありませうように良いお年を!! 今田基良